

Pharmacy Practice · Pretraining

4 units (compulsory) 4th-year(2nd semester)

Target) 卒業後、医療、健康保険事業に参画できるようになるために、病院実務実習・薬局実務実習に先立って、大学内で調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師職務に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

Outline) 医療現場での実習に備えて、薬剤師職務に関連する基本的事項の講義、グループディスカッション、ロールプレイなどを盛り込んだ演習、模擬薬局での調剤、製剤の実践などを通して、大学内で薬剤師職務に必要な最低限の基本的知識、技能、態度を学ぶ。

Style) Practice

Notice) 本実習は、病院薬剤部において実施する病院実習、地域保険薬局において実施する薬局実習のためのプレトレーニングである。この事前学習を通じて基本的な薬剤師職務を理解し、医療人として一定レベルの技能、態度を身につけてから医療現場での実習に臨んでほしい。また、実習を通して医療において薬剤師が果たすべき役割についてよく考えてほしい。

Goal)

1. 事前学習を始めるにあたって
 - 1) 薬剤師業務に注目する
 - 2) チーム医療に注目する
 - 3) 医薬分業に注目する
2. 処方せんと調剤
 - 1) 《処方せんの基礎》
 - 2) 《医薬品の用法・用量》
 - 3) 《服薬指導の基礎》
 - 4) 《調剤室業務入門》
3. 疑義照会
 - 1) 《疑義照会の意義と根拠》
 - 2) 《疑義照会入門》
4. 医薬品の管理と供給
 - 1) 《医薬品の安定性に注目する》
 - 2) 《特別な配慮を要する医薬品》
 - 3) 《製剤化の基礎》
 - 4) 《注射剤と輸液》
 - 5) 《消毒薬》

5. リスクマネジメント

- 1) 《安全管理に注目する》
- 2) 《副作用に注目する》
- 3) 《リスクマネジメント入門》

6. 服薬指導と患者情報

- 1) 《服薬指導に必要な技能と態度》
- 2) 《患者情報の重要性に注目する》
- 3) 《服薬指導入門》

7. 事前学習のまとめ

- 1) 病院実務実習、薬局実務実習に先立って大学内で行った事前学習の効果を高めるために、調剤および服薬指導などの薬剤師職務を総合的に実習する。

Schedule)

1. 上記到達目標に従い講義、演習及び実習を進める。

Evaluation Criteria) 原則として欠席を認めない。出席およびレポート、薬学共用試験の成績で評価する。

Re-evaluation) 認めない。

Textbook)

- ◇ 実務実習事前学習 (東京化学同人)
- ◇ 第12改訂 調剤指針 増補版 日本薬剤師会編

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217162>

Contact)

⇒ (研究室)薬物治療解析学 医薬品情報学 病態神経薬学
(Eメールアドレス)臨床薬学実務教育室・東満美:azuma@ph.tokushima-u.ac.jp (Office Hour: 下記アドレス宛Eメールまたは面談を希望する医療薬学系教員に直接連絡し、時間調節の上面談して下さい。)